



■使用評価マニュアル：CASBEE柏2014年版

使用評価ソフト：CASBEE柏2014(v.1.22)

# 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東京大学(柏)生産技術研究所研究	階数	地上3F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	65人
気候区分	6地域	年間使用時間	5,100時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年4月1日
敷地面積	320,313 m <sup>2</sup>	作成者	須川哲也
建築面積	5,587 m <sup>2</sup>	確認日	2015年4月1日
延床面積	8,416 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 89%

③上記+②以外の 89%

④上記+ 89%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
RCの研究室棟を南北に配し、鉄骨の大屋根を架け渡すことで、実験室の大スパン無柱空間を中央に実現するとともに、研究所としての一体感をつくりだしている。	・希少植物を保存する取り組み ・工事残土を場内処理し、敷地外に出さない
<b>Q1 室内環境</b> 南北に設けたボイド空間から、大空間に自然光を導き、出来るだけ人工照明に頼らずに明るい空間を実現している。また深い庇を設けることで、室内空間が直射日光の影響を受けにくくし、環境を平準化している。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・ボイドによる半外部空間が利用者に憩いの場を提供 ・外構の緑化
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率空調機、高効率照明器具の採用 ・クールビット利用換気	<b>LR3 敷地外環境</b> ・建物高さを極力抑え、周辺への日影の影響や、風下への影響を小さくする ・敷地内に池、緑地を設け、地域に潤いをもたらす
<b>Q2 サービス性能</b> ・耐久性の高い給排水配管の採用 ・耐震性の高い設備機器・配管支持方法	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具の採用 ・構内中水利用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

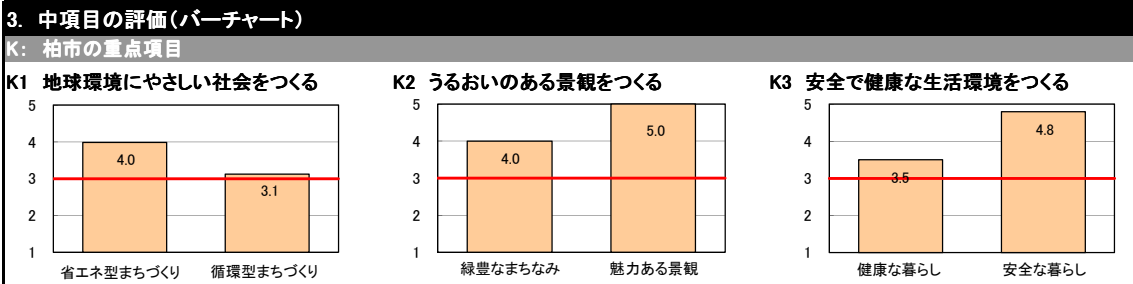


# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE柏2014年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2014(v.1.22)

<b>1 建物概要</b>			
建物名称	東京大学(柏)生産技術研究所研究・実験棟(仮称)	建築物の環境効率 (BEEランク)	A ★★★★★☆

<b>2 重点項目への取組み度</b>			
重点項目	取組み度※(得点/満点)	評価結果	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	3.5 / 5.0	ふつう	
K2 うるおいのある景観をつくる	4.5 / 5.0	すばらしい	
K3 安全で健康な生活環境をつくる	4.1 / 5.0	すばらしい	
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



<b>4. 設計上の配慮事項</b>	
<p><b>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</b></p> <p>南北に設けたボイド空間から、大空間に自然光を導き、出来るだけ人工照明に頼らずに明るい空間を実現している。また深い庇を設けることで、室内空間が直射日光の影響を受けにくくし、環境を平準化している。設備では高効率空調機、高効率照明器具、クールビット利用換気を採用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水構内処理</li> <li>構内中水利用</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア <b>5.0</b></li> <li>1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア <b>3.0</b></li> <li>1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア <b>4.3</b></li> <li>1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア <b>3.0</b></li> </ul> <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア <b>3.3</b></li> <li>2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア <b>3.0</b></li> <li>2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア <b>3.2</b></li> <li>2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア <b>3.0</b></li> </ul>
<p><b>K2 うるおいのある景観をつくる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外構の緑化</li> <li>希少植物を保存する取り組み</li> <li>建物高さを極力抑え、周辺への日影の影響や、風下への影響を小さくする</li> <li>敷地内に池、緑地を設け、地域に潤いをもたらす</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア <b>4.0</b></li> </ul> <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア <b>3.0</b></li> <li>2.2 水空間の創出 設置の有無 <b>○</b></li> <li>2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 <b>○</b></li> </ul>
<p><b>K3 安全で健康な生活環境をつくる</b></p> <p>バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法に定められた25%増の耐震性を有する</li> </ul>	<p><b>スコアシート</b></p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1.1 空気質環境(Q1-4) スコア <b>4.0</b></li> <li>1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア <b>3.0</b></li> </ul> <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア <b>3.8</b></li> <li>2.2 防犯対策 防犯性の配慮 <b>○</b></li> </ul>